

開校記念日

校長 八木澤 龍馬

6月18日、午前7時58分、大阪府内を震源とする地震が発生し、児童を含む5名の方が亡くなりました。心から哀悼の意を表しますとともに、被災された方々へのお見舞いを申し上げます。

本校のプールも通学路に面しているので、さっそく確認をしました。目隠しのフェンスはブロックではないので、崩れたり倒壊したりするような構造ではありませんでしたが、今後、専門家による点検も必要となるでしょう。

6月29日は開校記念日でした。

昭和48年6月29日、浦和市の主催により、校舎新築落成式が挙行されました。学校沿革史（学校の記録、永久保存の公文書）には、「校舎落成式挙行を記念して、6月29日を開校記念日として制定した。」と記されています。また、開校当時の先生による「あしあと…大谷口小この一年…」という、手書き16ページの冊子も綴られていました。今回は、その冊子の記録をもとに、昭和48年度、開校当時の様子を振り返ってみたいと思います。

「三月の陽ざしの中で、やわらかく輝く校舎、整備された運動場、校庭のところどころに植えられた樹木にも満一年の年輪がはっきりと感じられる。」と、しみじみとした前書きから始まります。

「4月2日、教職員34名着任。」職員室には机がありませんでした。「4月5日、谷田小学校から児童用机椅子の移動日。5、6年生児童登校。おり悪く小雨となる。」中断もあり、作業は難航しました。

「4月9日、晴れても運動場は使用不能。児童の登校する足元はとても悪い。675名（2年生以上）の児童は、管理棟屋上で始業式。」当時、管理棟には屋上があったのです。（体育館の起工は昭和50年8月8日、竣工は翌年3月3日。）入学式は翌10日に実施され、167名の新入生を迎えました。

この年は、雨の日が多く、運動場の整地作業が遅れたようです。「子どもたちはベランダに出ては、空を仰ぐ。」「5月18日、校庭の整地がいよいよ始まった。ダンプカーの出入りは最高になったが、またしても雨。2、3日は中止。」「5月28日、『今日の朝会は運動場で行います。児童の皆さんは、運動場へ出てください。』朝の校内放送であった。一斉に沸き起こる歓声とともに運動場へ。まっしぐらにかけよる子ども、ころぶ子ども。しばらく雨はほしくない。」校庭が使えない2か月は長かったことでしょう。

7月1日、整備された運動場で、校舎新築落成記念運動会が行われました。「竣工落成記念行事の一環として、地区別対抗PTA運動会を実施。（PTA主催、青少年育成大谷口地区会後援）。演技種目は、紅白玉入れ、綱引き、フォークダンス、みこし大会、地区対抗親子リレー。」当時の児童、教職員はよく頑張りましたが、PTAや地域の人たちも同じ思いであったことが伝わってきます。

プールの竣工も、天候や資材の都合で、ずいぶん遅れてしまいました。「8月17日、待ちに待った竣工式。テープが切られた。浦和スイミングクラブの小中学生の模範演技の後、一斉にプールに飛び込んだ。みんな、満足そうな顔だ。」

今年、平成30年は6月1日と6月5日に、教職員と6年生がプール清掃を行いました。プールの底やプールサイドに積もった砂埃、生えた草、藻などを取り除き、みんながブラシで、ごしごしと磨きます。きれいになったプールに水を張って準備完了です。6月6日、プール開きを行い、児童の無事故と水泳の上達を願いました。全員が楽しく、ルールを守って安全に、より速く、より上手に泳げるようになってほしいと思います。梅雨の晴れ間、プールからは、子どもたちの歓声が聞こえてきます。

開校記念日と冊子「あしあと」を残してくれた先生への感謝とともに、大谷口小学校が、今も、これからも、みんなの学校であることを願っています。